

■新型コロナウイルス感染拡大防止への対応（五洋建設）

新しい働き方への転換

～現場での三密回避の徹底と工事継続は建設業の社会的使命
 ～ウィズコロナは、働き方改革と生産性向上（非接触、遠隔化、省力化）を一層推進する好機

○取組内容

● 本社・支店、営業所での取組

1 テレワークの推進

- ・緊急事態宣言中は出勤率30%未満、その他も50%未満を継続
- ・PC遠隔操作ツールの導入
- ・時差出勤の推進
- ・海外はそれぞれの国の指示に従って実施

2 オフィス環境の整備

- ・スクール形式での座席配置

本支店、海外全てのオフィスでスクール形式の座席配置へ変更

- ・一人当たり面積の拡大

本社ビルに近接する新たなオフィスを賃借し、本社一部部署、東京土木支店、東京建築支店を移設、ゆとりある座席配置を実現



増設した新オフィスでのスクール形式での座席配置
（東京建築支店）



スクール形式での座席配置へ変更
（シンガポール営業所）

3 移動機会の削減

- ・オンライン会議システムの活用による社内外会議、研修の実施
- ・オンライン監査、安全パトロールの実施

● 工事事務所（協力会社を含め全員）

～昨年4月の緊急事態宣言以降取組みを継続

1. 体調管理・衛生管理の徹底

- ・入場時体温測定、体調不良者の入場制限
- ・マスク着用、消毒液設置、手洗所の増設

2. 時差通勤や朝礼の分散開催

- ・時間をずらして複数回、複数箇所を実施

3. 三密回避の徹底（他者と2mの距離を確保）

- ・打合せの複数回開催、参加者を最少化
- ・休憩は時間をずらして実施
- ・事務所、会議室、休憩所の拡大/ 増設/ 三密を避ける配席

4. 打合せのオンライン化

- ・発注者等との会議、打合せのオンライン化を推進
- ・発注者の現場臨場を推進

国・地域	20年度当初の稼働予定	再開時期	現在
シンガポール	6月再開	20年9月以降はほぼ全ての現場が稼働	通常状態
アフリカ	年度内中断	モザンビーク：20年11月中旬～ マダガスカル：1期工事20年12月下旬、2期工事21年1月中旬～	通常状態
その他地域	中断無し	バングラデシュ、ミャンマーで1ヶ月程度中断	通常状態

※ミャンマーは政情不安により、工事中断中